

行政視察報告

(会派 至誠の会)

<視察目的>

- ・ 予算決算常任委員会の取り組み状況について
- ・ まちづくりポイント制度について
- ・ 林業振興全般の取り組みについて

<視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察内容
1月23日	神奈川県 横須賀市	議会改革 ・ 予算決算常任委員会の取り組み状況について
1月24日	茨城県 龍ヶ崎市	・ まちづくりポイント制度について
1月25日	埼玉県 秩父市	・ 林業振興全般の取り組みについて

<視察概要報告>

1. 横須賀市

対応部署：横須賀市議会事務局

● 説明概要

予算決算常任委員会の設置目的は、従来の分割付託による審査方法は各委員会での表決結果が異なる可能性がある等の矛盾が生じることから、これを解消するため、平成20年か議会制度検討会を設置し、先進地視察を含め延べ18回の会議を重ね、平成23年3月に運営要綱を制定、今日に至っている。

配布された資料により委員会（理事会、分科会）の構成審査の流れを詳細に説明を受けた。

<考 察>

同時に配布された予算決算常任委員会運営要綱は、平成23年5月2日から施行するとなっているが、その後3回も一部修正がされ、課題をその都度精査され

た足跡が伺える。時の議長の諮問機関で検討が開始されているが、安来市議会の現状から見直しをするには、相当なエネルギーを要すると思われる。議員懇談会等で十分議論してスタートされたい。又、議会制度検討委員会あてに各会派から提案課題一覧が別添資料として配布された。「討論の機会の見直し」等、参考とすべき内容が多々あった。

2. 龍ヶ崎市

対応部署：市民生活部コミュニティ推進課

● 説明概要

まちづくりポイント制度について、資料により詳細な説明を受けた。制度の検討は平成22年に「総合計画策定市民会議」（公募市民、大学生、市職員）でスタートし、その後「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に位置づけ、優先プロジェクトとして制度の構築が位置づけられ、平成26年1月から運用を開始し現在に至っている。

<考 察>

制度にかかわる予算は、ポイントシール印刷代を含めて約140万円と市民参加を呼びかけにとしては安価と思えた。

成果と課題がまとめられており、市民参加によりキャッチフレーズが「めざせ！市民活動日本一」となっています。課題に取り組み、2～3年後の成果を調査したいと思います。

3. 秩父市

対応部署：環境部森づくり課

● 説明概要

環境部に設置されている森づくり課は職員4名と県より1名の出向職員により森林行政を担当しているとのこと。上位である埼玉県地域森林計画の指針に基づき、分野別に構成された内容で取り組まれていた。

「森林林業木材産業の育成と森林保全」の秩父市の総合振興計画の施策を基本

とし、①特定分収育林事業、②市営林造林管理事業、③林業振興活動支援事業、④治山事業、⑤森づくり事業、⑥森林保全事業、⑦木材活用推進事業に取り組まれているが、業務量は多大であると推測した。

<考 察>

市は577km²で森林面積は87%、埼玉県約40%を占める森林の町である。首都東京の水源地荒川の上流にあり、広域水道管理体制の中で運営されており、市の予算には水道にかかわる予算は無かった。木材の活用には公共建築物に使われ、庁舎議場、市民会館を見学したが素晴らしいものでした。

森林組合は秩父市と隣接する横瀬町、皆野町、長瀨町、子鹿野町を一体とした組合で健全経営とのことであった。

森林振興活動支援事業の一つとして、木の駅プロジェクトの動きがあった。要領の提出を依頼したので参考にしたい。